

ワークショップ通信 Vol. 1

発行 平成 28 年 11 月 7 日

- 北条旧市街地 町屋くらし再生塾 -

加西市人口増政策課

北条旧市街地のまちづくりを考えるワークショップが始まりました！

「北条旧市街地 町屋くらし再生塾」とは？

北条旧市街地のまちづくりを具体的に進めていくため、北条旧市街地や加西市でまちづくりに携わられている皆さんにお集まりいただき、町屋等での暮らしの特徴・良い点や問題点などについて話し合います。また、町屋等の再生・活用などの方向性、ビジョンを検討のうえ提案いただきたいと思いますと考えていま

全体の
流れ

- 第1回ワークショップ（10月3日）
 - ↓ ・町屋くらしの住まいや暮らしの特徴・魅力、問題点について
- 第2回ワークショップ（11月7日）
 - ↓ ・第1回で出た課題の視点から取組・方向性の議論
- 第3回ワークショップ（12月上旬）
 - ↓ ・町屋等の活用・再生のモデルとなる先導プロジェクトの検討
- 先導プロジェクト等の具体的な検討（平成29年1月～3月）
 - ↓ ・アクションプランを作成
- 先導プロジェクトの実施（平成29年度）

皆さんのご意見がまちづくりに反映されていきます！



北条旧市街地ビジョンの策定

- ◆平成28年度中に、目指すまちのイメージの共有、町屋のエリアリノベーション等の取組や先導プロジェクトの方向性を定め、北条旧市街地におけるまちづくりのビジョンを作成します。
- ◆今回の「町屋くらし再生塾」で出たご意見を反映させていただきたいと考えています。

先導プロジェクトとは？

- ◆平成29年度より、町屋等のエリアリノベーションによる活用のモデルとなるよう、交流等拠点施設を整備します。
- ◆町並み調査結果（現在進行中）を踏まえ、市から拠点として適切な町屋を提案します。「町屋くらし再生塾」においては、具体的な活用方策について提案いただきたいと思いますと考えています。

第1回ワークショップでの意見

【魅力】

◆歴史・文化の魅力

- ・子どもの頃は、相撲取りが巡業によく来て宿泊したことから、いたるところに旅館があった
- ・(まちの歴史を)一つひとつを大切に読み解いていったら、色々な話がふくらむと思う

◆商業・商売のまち

- ・商業・商売・流通のまち

◆おもしろい・楽しむ

- ・視点を変えたらおもしろく映ることがたくさんあると思う

◆若者・住民の出会い・交流

- ・思いを持って活動したいとおられる方がたくさんいらっしゃるというのは魅力だと感じ、移住してきた

◆自然、ありのままが残っている

- ・生活の息吹があって、昔の自然な雰囲気があるまちが好きな方がみえている

◆活用する場所がある(可能性)

- ・空き家が多いというのも魅力に感じる。おもしろいことができると思った

【問題点】

◆人口減少・高齢化、暮らしの機能の低下

- ・実際に住んでいる人がいなくなっている
- ・まちに入ってきて若くも若い人が生活できるか

◆担い手の不足

- ・いくら自分たちが外で踊っていても、なかなか踊らない
- ・担い手が多くいれば、まちも変わってくると思う

◆市全体の取組との整合性

- ・どのようなまちにするかという基本をきちっとしておかないと、原点にもどってまちなかで地産地消をするといっても、長期的にみても難しいと思う

◆賑わいの場所がない

- ・今はまちなかに盛り上がる場所がない、まちを歩いても人がいない、行くところがない

◆活用する場所がある(活用の課題)

- ・朽ちる前の段階でうまくとめて、修復できれば

■実施日

10月3日

■場所

加西市地域交流センター

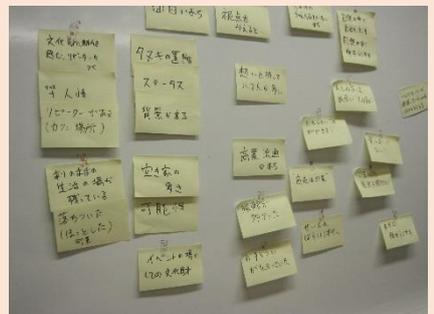
当日の様子



昔の北条旧市街地の写真のスライドをみながら、まちの姿について振り返りました。



兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科の山崎義人先生から、北条旧市街地を歩いた感想、移住・定住について近年議論されている内容等について、お話を伺いました。



北条旧市街地における町屋等の魅力、また「もっとこうだったらいいのにな」といった問題点等について、意見交換を行いました。